

あかつき園

あかつき園の農業は、2つの目的で行っています。①障害者に就労の場を提供し、訓練によって就労の力をつける、②農薬や化学肥料不使用の、安心安全な野菜を供給することです。

具体的な活動は、園生を主体に、種まきや草取り、収穫、袋詰め等、農業に関わる仕事を行います。最初は手取り足取り教えていたことも、日々繰り返し返すことで、できるようになります。失敗も沢山ありますし、農薬を使わない分、苦勞も多のですが、その全てを糧に成長できる機会を作っていくのが職員の務めです。

今後の目標は、園生がもっと自主性を持って仕事に取り組みよう支援すること、



苗の定植後、防虫のためネットを掛けている様子

地産地消の枠を超え、大都市圏に向けた販売に取り組んでいく予定です。

あかつき園 小澤啓明

※あかつき園は、現在、富士山麓有機農業推進協議会のサポート会員となっています。

活動紹介

「有機の映画祭」

ふじのみや有機の映画祭と題し、平成25年からドキュメンタリー映画の上映会を行っています。

これまで上映した映画は「モンサントの不自然な食べもの」「よみがえりのレシピア」「100年ごはん」「パパ、遺伝子組み換えってなあに」「ホッパーレース」といった、遺伝子組み換えや在来作物、生物多様性などをテーマにした作品です。映画の後、講師の先生をゲストに呼びびして講演会を行ったり、有機農家が採った種の交換会なども行っています。映画や講演会を通して、農家自身も勉強になりますし、お客さんとコミュニケーションすること、有機農業に対する理解がより深まればよいなと考えています。

平成28年には、「命と食を考える集い」というイベントを開催している、ふじ食農体験交流協議会との共催で田貫湖にある日本大学の施設で上映会を行わせていただきました。



稲垣栄洋教授(静大)をゲストに富士宮の在来作物を紹介



自家採取した種をお客さんにおすそわけ



田中佳医師による「食と健康」をテーマにした講演